

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和5年2月24日

事業所名:ガーデンキッズトリア(児童発達支援 トリア)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・利用するお子様の人数や発達段階、活動に応じて2クラスに分けたり、合同で活動したりする等、環境設定を工夫しています。 ・マルヤガーデنزの屋上庭園(ソラニワ)や近隣の公園等、地域の資源も活用し、活動を実施しています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・職員数においては、配置基準を満たしています。また、その日のお子さまの人数や状態に合わせて職員数を調整し、安全に活動を行えるようにしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・玄関や療育室内は段差をなくしています。また、療育室内にジョイントマットを敷き、安全で過ごしやすい環境を提供できるよう努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・療育終了後に室内、トイレの清掃、玩具の消毒を行っています。また、換気や空気清浄機の使用も常時行っており、感染症対策で湿度は50%を保てるよう努めています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・療育前の打ち合わせや療育後の振り返り、チーム会議やケース会議等で、職員全員が活発に意見を出し合い、活動内容や支援方法を検討しています。決定した改善内容については、実施後、定期的に状況を確認しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・行事企画については、実施後に保護者へのアンケートを行い、いただいた意見を参考にしながら改善に努めています。また、玄関には意見箱を設置しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・昨年度の評価結果、改善目標についてもホームページで公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・研修については毎月の園内研修等、福祉全般の分野に渡って幅広く研修を行っています。 ・職員が自己研鑽に励めるよう希望者は、オンラインで受講できるe-learning(スペシャルラーニング)を導入しています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・個別支援計画作成の際は、アセスメントやモニタリングを適切に行い、作成しています。その際、保護者から聞き取りを行ったり、サービス等利用計画を確認したりしながら、お子様の強みや希望・課題、保護者の要望等を照らし合わせながら計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・新版K式発達検査2020、PVT-R絵画語い発達検査を保護者承諾の上で実施しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・発達支援については、適切にアセスメントを行い、お子さまの発達段階に合わせた支援内容になるよう努めています。 ・家族支援、地域支援では家庭や幼稚園、保育園での様子を確認し、地域の中で安心して過ごすために必要な支援内容となるよう努めています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・活動前のミーティングで個別支援計画の支援目標や支援内容を職員間で伝達し、職員間で連携した支援を行うよう努めています。 ・ケース会議を3ヵ月に1回と必要に応じて随時実施し、職員間でお子さまの様子について確認し、支援内容等の意見を出し合い、共通認識を深め、統一した支援を行えるよう努めています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・翌月の活動のねらいについてチームで話し合い、セラピスト(公認心理師、言語聴覚士など)の意見を基に活動プログラムを作成しています。活動後のミーティングで出た意見を元にブラッシュアップを図り、子どもたちが楽しみながら専門的な支援が受けられるよう努めています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・ミーティングを通して、職員から新たな活動の提案があった際は積極的に取り入れたり、お子さまが好きなことや興味のあることを活動で取り入れたりしています。 ・発達段階、季節の行事等を考慮し、年間、月間で活動計画を立てた上で、日々の活動プログラムを作成しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・お子さまの状況に応じて、集団での活動内容や目的を設定し、工夫しながら支援を行っています。 ・公認心理師、言語聴覚士、理学療法士と協力して、個別活動や検査等を実施しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・指導案を基に、活動の意図や支援内容の確認、職員の役割分担について活動前にミーティングを行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・活動終了後に振り返りの時間を設けています。セラピスト(公認心理師、言語聴覚士、理学療法士)も参加しており、専門的な視点から活動の進め方やお子さまへの支援方法等の意見交換を行い、スムーズな活動の展開ができるよう努めています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・お子さまの利用時の様子については、利用したお子さま全員分を毎日、支援日誌へ記入しています。 ・活動案にコメント欄を設け、活動の様子や改善点など書き込み、次回の活動にいかしている。	
関係機関や保護者との	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・個別支援計画を作成後、定められた期間に合わせてモニタリングを行い、担当・チーフ・児童発達支援管理責任者で個別支援計画作成会議を行っています。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・サービス担当者会議については、児童発達支援管理責任者、またはチーフ、サブチーフ、個別支援計画担当者が参加しています。	・参加が難しい場合は、事前に相談員に情報提供を行い、利用時の様子を伝えると共に会議後に内容を確認し、課題やニーズの把握と支援内容の統一に努めています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・保健センターでの総合発達相談会、かごしま北ネット連絡会等への参加や公開療育を実施して情報の共有をしています。また、関係機関研修会やきょうだい児支援会の実施を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			・医療的ケアが必要なお子さまが幼稚園や保育園との併行利用をしたケースは現在はありませんが、必要に応じて関係機関と連携を図り統一した支援ができるよう努めます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			・利用の際は主治医、協力医療機関の連絡先を控え緊急時に連絡できる体制を整えています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・保育園や幼稚園へ就園する際は、就園先と情報共有を行い、相互理解を図っています。移行後には、必要や要望に応じて保育所等訪問支援を実施しています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・就学の際は、夢すこやかファイル(移行支援シート)を作成し、保護者の了承を得た上で小学校へ情報提供を行っています。また、かごしま北ネット等へ参加し、小学校と情報共有、相互理解を図っています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
連携関係	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・公開療育へ参加し、活動内容や保護者支援等、各事業所での取り組みについて連携を図っています。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・利用されているお子さま以外の方と一緒に活動をする機会はございませんが、幼稚園、保育園と併行通園をしているお子さまもあり、日常的に障害のないお子さまと活動をしています。 ・地域との交流として、マルヤガーデンズと共同し、天文館ミツバチプロジェクトやハロウィンイベント、七夕等を企画し、地域の開かれた場で楽しく活動できるよう努めています。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・日々の引継ぎにてお子さまの状況について保護者と情報共有をしています。また、個別相談を年1回は実施し、希望される方へは随時面談を設定しています。 ・要望によって、セラピスト(公認心理師、言語聴覚士、理学療法士)との面談の設定もしてお子さまの様子について相談できるようにしています。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・マルヤガーデンズと連携し、7月に子育て支援講座(単日)、9月にペアレント・プログラム(全6回)を一般の方も対象に実施しています。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・利用前の見学や契約の際に、施設の紹介や児童発達支援の内容、活動プログラム、および利用料の説明を行っています。また、保護者からの質問等にはその都度返答を行っています。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・毎年、6月に就学前個別相談(年長児保護者対象)、9月に個別相談(年長児以外対象)、その他の面談は要望に応じて随時実施しています。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・年2回、合同保護者会を計画、実施しています。今年度は、オンラインでの参加もできるような環境を整えました。 ・今年度、保護者懇親会は新型コロナウイルスの感染状況から中止しています。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・苦情については第三者委員会を設置しており、事業所と保護者でサービスの契約を行う際に説明を行っています。また、苦情の内容および対応等については即時返答を行い、専用の用紙に記録として残し第三者委員会で報告しています。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・毎月、おたよりにて活動内容や行事予定をお知らせしています。 ・連絡アプリ(コドモン)を活用して情報を迅速に保護者へお知らせできるよう努めています。また、ホームページにて活動の様子も掲載しています。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・写真や名前の掲示については写真掲載同意書を活用し、許可を得た方のみ掲示や掲載を行っています。 ・保育所等訪問支援にて幼稚園、保育園を訪問する際や連絡を取り合う際には、保護者に承諾を得た上で実施を行い、情報共有をしています。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・お子さまへのコミュニケーションの手段としては、発達段階に合わせて写真や絵カードなどの視覚支援ツールも用いています。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・法人として、秋まつり・ワークショップ等を実施しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・非常災害対策マニュアル、健康管理マニュアル、防犯対策マニュアルを策定しており、保護者も閲覧できるようファイリングして玄関に設置しています。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・避難・消火訓練年間計画表を作成し、月ごとに火災、地震、噴火、津波、防犯の種別を決め、毎月午前、午後に1回ずつ避難訓練を実施しています。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・サービス利用開始前に服薬の状況や体調等、お子さまの健康状態の聞き取りを行い、必要な対応方法について検討し、保護者と確認をしています。	・てんかん発作のあるお子さまは現在おりませんが、利用する際は発作時の詳しい状況を引き継ぎ時に伝達し、支援日誌に記録し、職員間で発作時の対応についての共通理解に努めます。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・利用契約時に食物アレルギーの有無、保護者を通して医師の指示書の確認を行い、摂取可能なおやつを提供するよう対応しています。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハット報告書については、発生状況、気付いたこと、対応策などを記入し、作成後は専用のファイルに綴じています。職員は必ず閲覧し、状況の把握、日頃からのヒヤリハットに対する意識の向上に努めています。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待防止に関する研修を毎年行っています。また、人権侵害防止の為に自己チェックシート、人権侵害防止に関する書類への署名等、虐待防止に向けた意識向上の取り組みを行っています。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)